

# 校内研究だより

町田市立金井小学校  
2019年1月27日  
研究推進部

## 3年生の最終研究授業おつかれさまでした。

2年間の学年・学級づくりの校内研究のまとめにふさわしい、体育の授業でした。運動を通して、認め合い、学び合う姿。作戦会議の様子や話し合いの聞き方など、これまで、培ってきた学級経営が生かされていたと思います。

子供の姿	教師の指導	その他環境・共有したいこと
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動量が多く、良く動いていた。(8)</li> <li>・子ども達の学習意欲、活動意欲が良かった。(6)</li> <li>・子ども同士の声のあいさつ、かけ合いが頻繁にあって良かった。(9)</li> <li>・クラスで作ったルールを守るようとする意識が各チームに見られた。</li> <li>・話し合い、試合から学んだこと考え、工夫して次の試合に生かそうとする姿が見られた。(2)</li> <li>・点数のことでもめていたが、「負けは負けだよ」と折り合いをつけ、受け止めていた。(3)</li> <li>・作戦タイム中に相手の良い所を言ったり、作戦の確認をしたりしていた。</li> <li>・作戦を決めて、実行しようとする。</li> <li>・赤白帽の使い方がよかった。</li> <li>・本時の流れ、次何をするか子どもたちが良く理解して、主体的に動いていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームが進むにつれ、トラブルの解決方法が変化し、ゲームの後すがすがしい気持ちになっている。</li> <li>・ルールを子どもたちで話し合っ変えていくのは、よりよいゲームにしたいという意識が育ってよい。</li> <li>・練習を自主的にしている。また、何のための練習か分かっている。</li> <li>・コオディネーション等の準備運動から主運動につながる動きが良い。</li> <li>・先生の指示が分かりやすく、短い、子どもの良い所をすぐ褒める。(2)</li> <li>・色々なパス練習が有効だった。</li> <li>・六角形の作戦カードは確認しやすく、チームや友達の良い所がすぐ振り返れて良い。(2)</li> <li>・先生も半袖で元気ハツラツ。</li> <li>・本時のめあてが具体的。</li> <li>・子どもの実態にあった運動内容。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・顔を寄せ合う学習カードが工夫されていて良かった、自然と会話が生まれていた。また、ワークシートの周りで円になって話しながら書けるのが良い。(13)</li> <li>・全員パス、ゴールの作戦でボーナス点をゲットするルールが良い。声をかけ合っボール回せていた。</li> <li>・赤白帽を活用していたのが良い。</li> <li>・ルールを自分たちで決めていることで考える力が育っている。</li> <li>・ターゲットの色が赤くて見やすい。</li> <li>・特別支援学級の児童用のワークシートも分かりやすくて良い。</li> <li>・最後の「よい動きの確認」ができたのが、よい動きの共有になっていて良かった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作戦タイムがチームごとにばらつきがある。</li> <li>・作戦カードの書き方、すごかった、うまくいった→どうすごかった、どのようにうまくいったか書けるように指導したい。</li> <li>・子どもが点を入れていたので作戦やルールでもっと工夫ができると良かったかも。</li> </ul> <p>Qゲームに出ない人を決めるのはどうしていますか？ちょっともめている様子が見られた。</p> <p>Q勝敗の受け入れ方は、どう指導するか。</p> <p>Q作戦の有効性、適合性について。</p>	<p>Qゲームの人数が5対4の意図は？</p> <p>Q「得点するための動き」とはどのような動きをイメージしていたのか？</p> <p>Q「パスを使おう」とたくさん声をかけられていましたが、どのような意図が？また、パスへの意識は高いのか。(2)</p> <p>Qメンバー交代、短い時間で誰もが分かりやすい方法は？</p> <p>Qルールがどのように変わったか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団子のなってしまうのを解消するために、準備運動で散らばる動き(ゲーム)を取り入れられないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットの大きさは決まっていたのか？もう少し小さくするとコーナーをうまく使えそう。</li> <li>・審判の数がもう少し欲しい。</li> <li>・点数が多く入り過ぎていることで煩雑になって数え方が難しいことがあった。(3)</li> </ul> <p>Qコートの中の人数は妥当か、動きを保障するのに多い方がいいのか、少ない方がいいのか。</p> <p>Q一人で攻めている子への声かけは、どのようにしているか。</p>

## 授業で見られる手立てと工夫

- 今日の学習の流れ
- ①はじめのあいさつ
  - ②めあての確認
  - ③準備運動
  - ④主運動につながる運動
  - ⑤ゲーム 1セット目
  - ⑥振り返り
  - ⑦ゲーム 2セット目
  - ⑧振り返り2
  - ⑨片付け
  - ⑩整理運動
  - ⑪学習のまとめ
  - ⑫おわりのあいさつ

学習の流れを提示し、1時間の見通しをもたせる工夫

子供たちから出されたルールの特長

**3年1組 ターゲットボールのルール!**

- ・1本でもタグを取られたらリスタート  
→2本取られるまでOK
- ・ボールを落としたらリスタート  
→落ちて1秒だけボールを蹴ける
- ・1人何点も取った場合 →1人1点だけ
- ・全員がとくたしたらボーナス3点
- ・2人で返さくをした場合は相手チームに1点
- ・攻めき6人 守り5人  
→攻めき5人 守り4人 1人に取らない人は、ライズマンでOK



準備体操は、主運動につなげる運動を取り入れる。「何のためにやるのか」ねらいが明確なので子供たちがよく活動しているのがわかる。



「絶対勝つぞー! お〜!」  
ゲームの始まりには、円陣を組んでチームワークを意識させる。



「次、○君にパスするから」  
全員ゴールを目指して、作戦通り。紅白帽子で、ゴールした人が分かる工夫。ボーナスポイントがもらえる。

「え〜。点数が違うよ〜」  
もめごとは、チャンス! トラブル、もめごとが大切。認め合い学び合いのチャンスになる。このような経験があり、子供たちは、折り合いの付け方が上手になっている。



「今日、どうだった?」  
「○君の走ったのがよかったよ。」  
チームでの振り返りは、個の反省を共有する。対話的活動の1コマ。6角形のボードは、チームカアアップにつながる工夫。



**最後の振り返りで、良い動きの確認**  
友達の動きで良かったところの共有をして、次への意欲につなげる。学び合いの場面。  
子供たちの集中が途切れず、最後までしっかり聞く姿勢すばらしい。

